

各 関 係 機 関 長 殿

岡山県病虫害防除所長  
(公 印 省 略)

病 害 虫 発 生 予 察 情 報 に つ い て

病虫害発生予報第3号を下記のとおり発表したので送付します。

平 成 25 年 度 病 害 虫 発 生 予 報 第 3 号

平成25年 5 月31日  
岡 山 県

予 報 概 評

作 物 名	病 害 虫 名	発 生 時 期	発 生 量
水 稻	葉いもち ヒメトビウンカ 縞葉枯病 ツマグロヨコバイ ニカメイガ	やや早 — — — —	やや多 少 並 少 並
ジャガイモ	疫病	並	並
モ モ	灰星病 黒星病 せん孔細菌病 モモハモグリガ ナシヒメシンクイ カメムシ類	— やや遅 — — — —	やや少 少 やや多 やや多 並 やや少
ブドウ	べと病 うどんこ病 灰色かび病 フタテンヒメヨコバイ	やや遅 やや遅 やや遅 並	やや少 並 やや多 並
トマト	疫病 灰色かび病 葉かび病	— — —	やや多 並 並
キュウリ	べと病 褐斑病 炭疽病	— 並 やや早	並 並 やや多
ダイコン	軟腐病 コナガ	並 —	並 少
野菜全般	アブラムシ類 モザイク病 ミナミキイロアザミウマ	— — —	やや多 並 並
キ ク	白さび病 ナミハダニ	— —	並 やや少

## 1. 普通作物

### (水 稲)

#### (1) 葉いもち

予報内容

発生時期 やや早 発生量 やや多

予報の根拠

ア. 中北部地帯の田植時期、生育概況は概ね平年並である。

イ. 5月24日の季節予報によると、6月の気温は平年より高く、降水量は平年並または平年より多いとされており、発病をやや助長する条件である。特に6月下旬に曇りや雨の日が多い場合は発生を助長する条件となる。

防除上の参考事項

ア. 中北部地帯においては、育苗箱施用剤による防除が普及しており、育苗箱施用剤の残効は40～60日とされている。5月中旬までの田植えでは6月下旬頃から効果が低下すると考えられるので、その後病斑がみられる場合は薬剤を散布する。

#### (2) ヒメトビウンカと縞葉枯病

予報内容

発生量 ヒメトビウンカ（第1世代成虫） 少  
縞葉枯病 並

予報の根拠

ア. 県予察圃場における5月のヒメトビウンカ成幼虫の発生量は34頭であり、平年（172.8頭）より少なかった。

イ. 縞葉枯病については、媒介虫であるヒメトビウンカの県予察圃場における保毒虫率が11.0%と平成24年までの過去10年間（平成16～20年は欠測）の平均保毒虫率（3.5%）より高いが、虫の発生量が少ないことから平年並と考えられる。

#### (3) ツマグロヨコバイと萎縮病

予報内容

発生量 ツマグロヨコバイ（第1世代成虫） 少

予報の根拠

ア. 県予察圃場における5月のツマグロヨコバイ成幼虫の発生量は23頭であり、平年（52.9頭）より少なかった。

防除上の参考事項

ア. ツマグロヨコバイが媒介する萎縮病は、近年少発生が続いている。

#### (4) ニカメイガ（越冬世代成虫）

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 赤磐市のフェロモントラップにおいて、5月5半旬までに平年同様誘殺を認めていない。

### (ジャガイモ)

#### (1) 疫病

予報内容

発生時期 並 発生量 並

予報の根拠

ア. 5月23～24日の巡回調査では、平年同様発生を認めなかった。

イ. 5月24日の季節予報によると、6月の気温は平年より高く、降水量は平年並または平年より多いとされており、発病を助長する条件ではない。

防除上の参考事項

ア. 発生圃場では、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

## 2. 果 樹

### (モ モ)

#### (1) 灰星病 (早生種)

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 5月21日の巡回調査によると、芽枯れ、枝病斑の発生量は平年より少ないことから、幼果への感染量も平年より少ないと考えられる。

イ. 5月24日の季節予報によると、6月の気温は平年より高く、降水量は平年並または平年より多いとされており、降水量が多い場合には発病を助長する条件となる。

#### (2) 黒星病

予報内容

発生時期 やや遅 発生量 少

予報の根拠

ア. モモの生育は平年よりやや遅めで推移している。

イ. 5月21日の巡回調査によると、枝上の越冬病斑密度は、平年より少なかった。

ウ. 幼果における本病の潜伏期間は約35日（果実生長第2期以降は20日）とされている。5月の降水量は平年より少なかったため、幼果への感染は平年より少ないと考えられる。

#### (3) せん孔細菌病

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア. 5月21日の巡回調査では発生圃場率は10.7%で、発生圃場率は平年（9.4%）並であった。

イ. 5月24日の季節予報によると、6月の気温は平年より高く、降水量は平年並または平年より多いとされており、降水量が多い場合には発病を助長する条件となる。

#### (4) モモハモグリガ (第2世代幼虫)

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア. 赤磐市のフェロモントラップによると、5月1～5半旬の誘殺は無く平年（26.2頭）より少なかった。

イ. 5月21日の巡回調査によると、発生程度は低いものの発生圃場率は14.3%で平年（6.4%）より高かった。

ウ. 5月24日の季節予報によると、6月の気温は平年より高く、発生を助長する条件である。

エ. 平成25年度植物防疫情報第4号参照。

#### (5) ナシヒメシンクイ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 赤磐市のフェロモントラップによると、5月1～5半旬の誘殺は無く平年（6.4頭）より少なかった。

イ. 5月21日の巡回調査における心折れの発生圃場率は3.6%で平年（3.5%）並であった。

ウ. 5月24日の季節予報によると、6月の気温は平年より高く、発生を助長する条件である。

(6) カメモシ類

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- ア. 赤磐市の予察灯における5月1～5半旬のチャバネアオカメモシの誘殺は無く、  
平年(37.7頭)より少なかった。
- イ. 前年のスギ・ヒノキ花粉飛散数を利用した予測式によると、本年4～7月の予察  
灯への飛来数は、チャバネアオカメモシは赤磐市が166.9頭(平年494.3頭)、津山  
市が147.3頭(平年327.5頭)でともに平年より少ないと予想される。クサギカメモ  
シは赤磐市が16.9頭(平年16.9頭)、津山市が237.7頭(平年198.0頭)でともに平  
年並と予想される。

(ブドウ)

(1) ベと病

予報内容

発生時期 やや遅 発生量 やや少

予報の根拠

- ア. ブドウ(ピオーネ)の生育(開花期)は平年よりやや遅く推移している。
- イ. 県予察圃場のベリーA(無被覆栽培)において、5月28日まで発生を認めていな  
い(平年:6月4日)。
- ウ. 5月21日の巡回調査では、平年同様発生を認めなかった。
- エ. 5月24日の季節予報によると、6月の気温は平年より高く、降水量は平年並また  
は平年より多いとされており、降水量が多い場合には発病を助長する条件となる。

(2) うどんこ病

予報内容

発生時期 やや遅 発生量 並

予報の根拠

- ア. ブドウ(ピオーネ)の生育(開花期)は平年よりやや遅く推移している。
- イ. 5月の日照時間は平年より多く、本病の発生を助長する気象条件であった。
- ウ. 5月24日の季節予報によると、6月の気温は平年より高く、降水量は平年並また  
は平年より多いとされており、降水量が多い場合には発病を抑制する条件となる。

(3) 灰色かび病

予報内容

発生時期 やや遅 発生量 やや多

予報の根拠

- ア. ブドウの生育(開花期)は平年よりやや遅く推移している。
- イ. 5月24日の季節予報によると、6月の気温は平年より高く、降水量は平年並また  
は平年より多いとされており、降水量が多い場合には発病を助長する条件となる。

(4) フタテンヒメヨコバイ

予報内容

発生時期 並 発生量 並

予報の根拠

- ア. 5月21日の巡回調査における被害発生圃場率は8.3%で、平年(5.0%)並であつ  
た。
- イ. 5月24日の季節予報によると、6月の気温は平年より高く、降水量は平年並また  
は平年より多いとされており、特に発生を助長する条件ではない。

### 3. 野 菜

(トマト)

#### (1) 疫病

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア. 県予察圃場（5月7日定植）では、発生を認めていない。

イ. 5月23～24日の巡回調査によると、発生圃場率は14.3%で平成（1.8%）より高かった。

ウ. 5月24日の季節予報によると、6月の気温は平成より高く、降水量は平成並または平成より多いとされており、特に発病を助長する条件ではない。

#### (2) 灰色かび病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 県予察圃場（5月7日定植）では、発生を認めていない。

イ. 5月23～24日の巡回調査によると、発生圃場率は29.4%で平成（28.7%）並であった。

ウ. 5月24日の季節予報によると、6月の気温は平成より高く、降水量は平成並または平成より多いとされており、特に発病を助長する条件ではない。

#### (3) 葉かび病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 県予察圃場（5月7日定植）では、発生を認めていない。

イ. 5月23～24日の巡回調査によると、発生圃場率は14.3%で平成（28.0%）より少なかった。

ウ. 5月24日の季節予報によると、6月の気温は平成より高く、降水量は平成並または平成より多いとされており、降水量が多い場合は発病を助長する条件となる。

防除上の参考事項

ア. 本病の初発生時期（雨除け栽培トマトでは6月下旬～7月上旬）と病勢進展時期（7月下旬～8月上旬）に効果の高い殺菌剤を予防散布する防除体系は、葉かび病の防除に有効である。

(キュウリ)

#### (1) ベと病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 5月23～24日の巡回調査によると、発生圃場率は33.3%で平成（29.5%）並であった。

イ. 5月24日の季節予報によると、6月の気温は平成より高く、降水量は平成並または平成より多いとされており、特に発病を助長する条件ではない。

#### (2) 褐斑病

予報内容

発生時期 並 発生量 並

予報の根拠

ア. 5月23～24日の巡回調査によると、発生圃場率は16.7%で平成（24.3%）よりやや低かった。

イ. 5月24日の季節予報によると、6月の気温は平成より高く、降水量は平成並または

は平年より多いとされており、降水量が多い場合は発病を助長する条件となる。  
防除上の参考事項

ア. 被害葉は初期に除去し、処分する。

イ. 岡山県下ではトップジンM水和剤耐性菌が広く確認されているが、ジマンダイセ  
ンフロアブル、ダコニール1000などによる病原菌感染前の予防散布が有効である。

### (3) 炭疽病

予報内容

発生時期 やや早 発生量 やや多

予報の根拠

ア. 5月23～24日の巡回調査では、平年同様発生を認めなかった。

イ. 5月24日の季節予報によると、6月の気温は平年より高く、降水量は平年並または平年より多いとされており、降水量が多い場合は発病を助長する条件となる。

### (ダイコン)

#### (1) 軟腐病

予報内容

発生時期 並 発生量 並

予報の根拠

ア. 5月23～24日の巡回調査では発生を認めず、発生圃場率は平年(2.9%)より低かった。

イ. 5月24日の季節予報によると、6月の気温は平年より高く、降水量は平年並または平年より多いとされており、降水量が多い場合は発病を助長する条件となる。

#### (2) コナガ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

ア. 赤磐市における5月1～5半旬のフェロモントラップへの誘殺数は5頭で、平年(49.4頭)より少なかった。

イ. 5月23～24日の巡回調査では発生を認めず、発生圃場率は平年(57.0%)より低かった。

### (野菜共通)

#### (1) アブラムシ類とアブラムシ伝搬性のモザイク病

予報内容

発生量 アブラムシ類 やや多  
モザイク病 並

予報の根拠

ア. 赤磐市における5月1～5半旬の黄色水盤への飛来数は852頭で、平年(403.2頭)より多かった。

イ. 5月23～24日の巡回調査によると、アブラムシ類の発生量は平年よりやや多かった。モザイク病は発生を認めず、発生圃場率は平年(キュウリ:2.3%、トマト:1.8%)より低かった。

ウ. 5月24日の季節予報によると、6月の気温は平年より高く、降水量は平年並または平年より多いとされており、特に発生を助長する条件ではない。

#### (2) ミナミキイロアザミウマ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 5月23～24日の巡回調査によると、ナスでの発生量は平年並であった。

イ. 5月24日の季節予報によると、6月の気温は平年より高く、降水量は平年並または

は平年より多いとされており、特に発生を助長する条件ではない。

#### 4. 花 き

##### (キ ク)

##### (1) 白さび病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 5月23～24日の巡回調査では発生を認めず、平年(29.0%)並であった。

イ. 5月24日の季節予報によると、6月の気温は平年より高く、降水量は平年並または平年より多いとされており、発病を助長する条件ではない。

##### (2) ナミハダニ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 5月23～24日の巡回調査では発生を認めず、発生圃場率は平年(3.2%)よりやや低かった。

イ. 5月24日の季節予報によると、6月の気温は平年より高く、降水量は平年並または平年より多いとされており、特に発生を助長する条件ではない。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。アドレスは、  
[http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec\\_sec1=239](http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239) です。